

前県議会議員

通信 佐藤のぼる

佐藤昇事務所：
上山市金生東2-3-4
自宅：上山市下生居130
TEL：023-674-8647
携帯：090-7792-7126

略歴

- 山形市立商業高校卒業
- 大丸東京店勤務
- 陸上自衛隊第一戦車大隊勤務
- 都立立川高等保育学院卒業
- 東京都小笠原父島保育園勤務
- 上山市内保育園勤務
- 中国遼寧省中医大学専科終了
- 上山養蜂場経営
- 元上山市議会議員
- 元山形県議会議員

※コロナ禍の御挨拶で、ポストに投函させて頂く御無礼を御許し下さい。



佐藤のぼるは、この4年間で得た知識をバネに、再び上山の為に働かせて頂きたく多くの思いをしたためたので、最後まで是非とも読んで頂ければ幸いです。

しかし、ここで立ち止まっている訳にはいきません！止まってしまった上山を再始動させて、もしかして、近い将来、山形市との合併が話し合われる時、あくまで吸収合併ではなく対等合併となるような魅力的な街にしなければなりません！

この4年間、世界に蔓延したコロナウイルス、そしてロシアのウクライナへの侵略による社会の混乱、世界の秩序が暗闇の中にある今、私たちが暮らす上山も県との繋がりが難しい関係となり、私が現職時代に進めてきた道路や橋、河川の整備の多くが頓挫したままになってしまっている事はとても残念なことです。

4年前の県議会3期目の選挙に落選しました佐藤のぼるです。

皆様 御無沙汰しております。

——ごあいさつ——

上山の再出発に向けて始動します！

＊上山を来て良かった街、住みたい住んで良かった街一番にしましょう

◎皆様と共に上山を再生(再盛)させる為に身を尽くして頑張っておりますので、今後ともご指導ご鞭撻の程 よろしくお願い致します。

その二十一

犬や猫の去勢、避妊の補助、譲渡会の開催。

その二十

上山農高跡地に人工芝のサッカーグラウンド、屋外バスケットコートなどスポーツパークの整備

その十八

市民プールの改修。

その十九

旧カミンの抱えた借金問題の解決と施設の中身を再検討する。

その十七

上山ラジオ局の開設(市民がつくる市民のためのラジオ放送作り)

その十六

葉山の温泉に向かう交差点の改善工事(あんな交差点は他に見たことがありません。上山の恥です)

その十五

ファミレス、回転寿司の誘致はあきらめていません

その十四

市内に増え続ける空き家、廃屋の管理、解体を推進する

その十三

中学校三校を統合して上山中学校として新設(高畠中学校。前高畠町長は県庁に通い詰めて嘆願し素晴らしい学校を実現しました。)

その十二

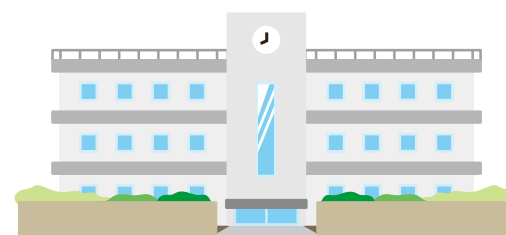
上山の特産野菜、果物栽培で耕作放棄地を無くす。(今、ニンニクや薬草について勉強しています)

その十一

市民大学の実現、様々な教室を市民が教え、市民が学ぶ場の創設(パソコン、プログラミング、書道、踊り、着付け、歌など何でも。)

その十

スズメバチの駆除費用を行政も負担協力する取組



アクセスは
こちら



佐藤のぼる
公式ホームページ

アクセスは
こちら



上山には時間がありません！

私が結婚して上山市民になって早三十七年が経ちました。あの頃は競馬場もあり人口も今より一万人位多かったはずなのに、競馬場の終了と共に上山の衰退が始まりました。

民間の日本創成会議が唱えた二十四十年に日本の自治体の半数896の自治体が消滅の可能性があるとする中に、私達の街上山もしっかり示されています。

三万を切った人口は、間もなく二万人を切り、高齢化が進み自治体の力は弱まり、公共サービスとしての除雪や市営バスや行事・公共施設の縮小・閉鎖などが進んで暮らしていく街になってしまい、若者等の人口流出に拍車がかかる可能性もあります。

今、手を打たなければ手遅れになる事は言うまでもありません。

この4年間、失職はしていても吉村知事には上山の支援をお願いしながらも、上山の再生のために何をすべきか精一杯勉強してきました。

これから残された時間で上山をいかに立て直すかが我々に与えられた大きな責務であることを自覚して、新たな賑わいを取り戻しながら元氣な上山を蘇らせます。



議員力検定二級合格

(議員力検定協会主催)

議員の武器は何といっても知識と経験そしてそれを揺り動かす情熱です。議員としての知識を深めるために議員力検定の二級を取得して年内に一級合格を目指して猛勉強中です。

多くの先進事例を国内外に求めて、農業・福祉・教育・医学や産業支援をいかに進めるか、見識を深めるべく日夜仕事をしながら勉学に励んでいます。

議員の役割は地域の要望を行政につなげるだけでなく行財政をチェックして街の発展の為に様々な提言をするなど多岐にわたります。

日々頭と体をフル稼働して、再び上山の発展に努めて参ります。

そのためにもこれまで以上に皆様と共に街づくり人づくりに必要な事を積み重ねていきたいと思います。そして、必ず皆様の期待に応えられる仕事をして、他の街からうらやましがられる上山を再盛する一翼を担う覚悟です。

**＊為せば成る 為さねば成らぬ
何事も！出来ない言い訳を考える
のではなく、出来る方法を考え、
いつも難しい方向を進みます。**



上山市と山形県の発展の為に左記の内容を提言・提案をしていきます！

その一

明新館高校に次世代の農林水産業とITエンジニアリングのエキスパートを養成する学科の新設
(水産業は内水面養殖漁業です。林業では荒れた山に手を入れ木材を切り出し、ペレットのようなエネルギー利用を図ります。)

その二

消防団の処遇改善と消防団をサポートする地域防災組織を充実させます。(神戸市長田区に学ぶものです。)

その三

ヨーロッパに学ぶ子育て支援、親の負担を可能な限り軽減できるよう取り組みます。
(病児・病後児保育、休日保育、夜間保育の実現など)

その四

産休、育休時期に上の子もしっかり保育をサポートします。(育休退園を無くします。)



その五

市民の皆様の様々な悩み、困り事をしっかりと聴きます。(電話での悩み相談のボランティア活動の経験を活かします。)
コロナによるメンタル不調の子ども・学生その保護者、社会人等への専門カウンセリング体制の構築
上山からイジメ・虐待・差別のような行為を無くします。

その六

上山のギフトセットの創設(市内のお菓子・果物などを詰め合わせてお中元・御歳暮等の季節の贈り物をカタログ化して収入アップ)

その七

旧村尾旅館を市営化し、日帰り温泉にして座敷などの施設を利用して皆様が一日過ごせる市民の憩いの場にします。

その八

上山城の新たな利活用↓上山城で結婚式を。披露宴は市内の旅館でかみのやまウエディングプランの実現。
それと共に石川県に習い男女の出会いをサポートする結婚支援の取り組みを充実させます。

その九

上山花笠踊り、神社のお祭りなどの再開、新たなゆかたの似合うお祭りイベントの創設。(例えば浅草のほおづき市のような)

皆様のご意見をお聞かせ下さい。